

2学期のごあいさつ

港区立赤坂小学校

校長 齋藤 恵

今年の夏は、東京で、最高気温が35度以上の猛暑日が16日という記録的な暑さが続きました。ようやく、とても暑かった夏休みが明け、新学期が始まりました。

新型コロナウイルス感染症は、一度は下火になったものの、この夏再び感染が拡大し、第7波が来たと伝えられました。毎日のように2万人、3万人、と感染者数の報道がされるたび、いつ、誰が感染してもおかしくない状況になっていることを感じずにはいられません。そんな中でも、社会経済活動を維持しながら感染拡大を防ぐ必要があるということで、あらためて個々人の基本的な感染対策と、各所での適切な対応が求められています。新学期にあたり、学校でも気持ちを引き締めて教育活動を行っていきたいと思います。

さて、夏季休業中に小中一貫校の工事が終わり、現在の赤坂小学校と、道路を隔てた向かいに新しく完成した赤坂中学校の校舎を結ぶ上空通路が通れるようになりました。9月から5・6年生が新しい教室に移るため、夏の間に荷物を運ぶ作業がありましたが、これまでは業者に頼んで持って行ってもらうか、一度校舎を出て道路を渡って運ばなければならないため、一苦勞でした。しかし、上空通路を通っていくと、物理的な距離だけでなく、気持ちの面でも大変近くなったように感じました。

これから2学期、3学期は、子供たちも私たちも今までと違う学校生活になります。新しい環境に慣れ、中学生（7年生～9年生）と一緒に過ごす中で、お互いにとってよいことは何か、何ができるのかを探していく時間だと考えています。1先生から4年生までの子供たちにとっては、頼れる存在の高学年の姿が近くになく不安かもしれませんが、自分たちでできることは自分たちでやる、という気持ちをもたせ、充実した学校生活を送らせていきたいと思います。保護者、地域の皆様には、引き続き子供たちを見守っていただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。